

平成31年度 事業計画書
平成31年度 収支予算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

公益財団法人
日本民謡協会

目 次

平成31年度事業計画書	1
平成31年度事業計画書(附表)	4
平成31年度正味財産増減予算書	6
平成31年度正味財産増減予算書内訳表	9

平成31年度事業計画

はじめに

昨年度、全国大会が品川区の「きゅりあん」にて2回目の開催となり、会員の皆様のご協力をいただきながら盛会のうちに終えることができました。課題に対しては一定の成果が見られたようですが、本年度は尚一層より良い大会になるよう取り組んでまいります。

青年会員の制度が少しずつ浸透しつつあり、準会員からの離脱する傾向は減少しております。更なる周知を徹底し、皆様と協力して会員の増強に努めてまいります。

教授会においては各地区において講習会などを開催し教授以上さらには助教授以下の方々にも教授会に参加いただき教養・技量の向上、また親睦を図り、中長期的に充実に努めます。

少子高齢化の波は年を追うごとに会員減少に大きく影響し、10余年前の制度での対応・運営が難しくなっております。今年度は連合大会および全国大会の概要の一部を見直すなど、会員皆様のご理解・ご協力を頂きながら進めてまいりたいと思います。

協会の普及啓発事業であった「日本民謡フェスティバル」をリニューアルし、「民謡民舞今フェス」を開催しました。テレビ放映などの反響が著しく、本年度においても更なる番組の充実を図りつつ、併せて経費・収入面においても良い成果が得られるよう鋭意民謡普及に取り組んでまいります。

2020年東京オリンピック・パラリンピックを目前にし、当協会では当該組織委員会とも連携しながら、民謡・民舞の魅力を伝えてまいります。

当年度前後して「民舞指導教本」の発刊にともない、会員皆様への販売、また全国教育委員会などへの周知・頒布を行ってまいります。

昨今 SNS などを活用が重要視されておるところから、若年～シニア層、特に「民謡・民舞」を知らない世代に対して理解していただけるよう、積極的に発信してまいります。

各事業の概要は、次の通りですが、各部門の連携をより緊密にし、実施効果が高まるよう努力してまいります。

1. 普及啓発事業（公益目的事業 1）

① 自主公演・コンクール・表彰

- a. 民謡民舞全国大会・地区大会・連合大会・津軽三味線コンクール全国大会・民謡民舞今フェスなどを開催します。

また、新春民謡ショーを自主公演するほか、靖国神社みたま祭に参加します。

- b. 民謡民舞の普及、啓発、研究等に、特に功労のあった方から、厳選の上、民謡三章（民謡文化章・民謡技能章・民謡功労章）の表彰を行います。

- c. 寄付文化醸成を図るため、民謡民舞の普及、啓発事業に財政面での支援が顕著であり、各事業の充実、円滑な運営に多大な貢献された方（民謡紺綬章・紺綬貢献章）を表彰します。

② 広報誌の発行、ホームページの充実

広報誌「協会報」は年6回発行し、民謡民舞に関する当協会内外の活動状況、民謡民舞に関する情報、解説、研究発表などの記事を極力掲載し、適正な情報伝達方法として活用します。

また、ホームページの更新に努め、適時・適切に情報を提供するように努めます。

さらに、SNS での発信およびインターネット中継など各大会や民謡・民舞への理解を得られるよう広く周知を図ります。

③ 図書・文献・映像・音源の保存と公開

民謡・民舞に関する数千種の図書・文献・楽譜・録音盤・音源を保存しており、民謡民舞の関係者や一般に広く公開しています。平成23年度より、音源のレコード・テープのCD化に取り組み、利用者の利便に提供しています。

④ 助成・支援事業

各地域における民謡民舞の大会に対する助成・支援をおこないます。

広く、一般の民謡民舞の団体に対し、公益的見地から選考の上、助成・支援をおこないます。

2. 育成事業（公益目的事業 2）

① 少年少女大会の開催

少年少女地区大会、少年少女全国大会を主催・共催し、その育成と民謡民舞の伝承を図ります。

② 教授会、講習会の開催

教授の方々をはじめ助教授以下の方々においても学識・技量の向上を図り、民謡民舞の伝承・振興に尽力し、且つ学校や社会啓蒙活動等への支援、相互の情報交換等を図るため、教授会を開催します。

また、広く各層（少年少女・青年層・一般など）の講習会を開催し、各対象に応じた民謡民舞の講習を通じて、その浸透と伝承に努めます。

講習内容は、唄・尺八・三味線・太鼓・唄ばやし・民舞などです。

③ 学校教育用教材などの作成と販売

学校教育用の和楽器・唄などの教材、特に学校向けの和楽器および民謡指導マニュアルを販売します。

なお、教材は、講習会でも活用します。

④ 小・中学校の生徒及び音楽教師への講習会の充実

現在、小・中学校の生徒及び音楽教師への民謡講習が本部また連合・会単位等で行われております。少年少女・青年層においては、民謡に触れる機会をつくり、また教える側への講習を行うことで未来への人材の育成を推し進めるべく、各連合委員会との連携とともに、より一層教育現場への活動を積極的に行います。

⑤ 民舞指導教本の作成・販売

和楽器および民謡指導マニュアルに続き、民舞の普及を目的とした指導教本の販売また公的機関などへの周知・頒布に努めます。

3. 調査研究事業（公益目的事業 3）

民謡民舞の発掘及び新作民謡の募集を実施します。

採択された作品は、民謡民舞全国大会で発表すると共に、当協会の図書館へ登録して保存し、利用者の閲覧に供します。

4. 施設の貸与事業（公益目的事業 4）

当協会が所有する舞台付き研修ホール・会議室などを貸し出します。

ホール・会議室・和室等は民謡民舞の研鑽・発表の場として、民謡民舞の愛好家・団体等に開放しております。

5. その他の事業（公益目的事業以外の事業）

① 指導者資格認定事業

全国に民謡民舞を普及するため、指導者を養成すべく、全国各地で指導者資格認定試験を実施し、指導者の育成を図ります。

② 民謡民舞関係衣装類の販売

民謡民舞用の着物・半纏・Tシャツを販売し、愛好者の利便に供します。

③ 民謡カレンダー・民謡手帳の販売

民謡カレンダー・民謡手帳を作成し、全国の主な民謡コンクール全国大会の日程を掲載して、民謡民舞の普及振興を支援します。

④ 民謡民舞に関する書籍を販売し、愛好者の利便に供します。

⑤ 当協会に、貢献・功労・永年在籍された会員を表彰します。

⑥ 新年賀詞交歓会の開催

民謡民舞の関係者等が一堂に会して、親睦を深めるほか、意見交換、情報の共有を図り、民謡民舞の振興に資するよう努めます。

⑦ 会員、組織の整備

協会活動の基礎となる会員の増強に努め、組織の拡大を図ります。

6. 管理部門

① 協会財政の見直し

引き続き経費削減に務め、所属会員の減少による会費収入への影響等を鑑み、自主公演含め各事業の見直し、その他収入源の確保等に努めます。

② 協会会館の附属設備の一部改修

当協会が所有する舞台付き研修ホール・会議室などを貸し出すにあたり、経年劣化箇所を改修を行い、利用者の利便性を図ります。その財源は「修繕引当金」を充当する予定です。

以 上

平成31年度事業計画書(附表)

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

事業又は催事名	実施月	摘 要
公益目的事業		
公1 普及及び啓発事業		
民謡民舞今フェス 2019	2019年9月28日	浅草公会堂(東京)
民謡民舞全国大会	2019年12月12~15日	きゅりあん(東京)4日間
大会特別委員会	随 時	民謡会館
第22回津軽三味線コンクール全国大会	2019年4月7日	浅草公会堂(東京)
新春民謡ショー	年度内	日時、会場未定
靖国神社みたま祭り	2019年7月13日	靖国神社 能楽堂(東京)
民謡三章等表彰	2019年12月12~15日	全国大会開催時、きゅりあん(東京)
地区委員長・連合委員長会議	2020年3月	民謡会館
協会報発行	年度内隔月	年6回 奇数月発行
研究特別委員会	2019年7月	民謡会館(発掘・新作民謡選考)
公2 育成事業		
2019年度民謡民舞少年少女東京大会	2019年5月19日	民謡会館
2019年度民謡民舞少年少女全国大会	2019年8月3~4日	きゅりあん(東京)2日間
少年少女・学校講習会	随 時	民謡会館・学校出張講習会等
青年層対象演奏会(民謡SONIC)	未 定	高校生以上の青年層を対象に発表の場を提供
民謡民舞少年少女指導員制度の推進	随 時	少年少女指導員制度の充実
青少年特別委員会	随 時	民謡会館
民謡民舞講習会	随 時	民謡会館、地方開催
民謡民舞指導者向け講習会	随 時	民謡会館、地方開催
民舞指導教本	発 刊	民舞指導者の教材、講習会の教材
公3 調査研究事業		
発掘・新作民謡の音源および歌詞の整備	随 時	民謡会館
発掘・新作民謡入選曲発表	2019年12月	全国大会開催時、きゅりあん(東京)
公4 施設の貸与事業		
ホール、和室、会議室の貸与	随 時	民謡会館

事業又は催事名	実施月	摘 要
収益事業・その他の事業		
2020年版協会カレンダー刊行	2019年10月	
2020年版協会手帳刊行	2019年10月	
認定特別委員会	年度内	資格審査・合否判定等
認定試験講習会	年度内	学科・民謡・器楽の講習
認定試験（師範教授）	年度内	民謡会館
認定試験（7会場）東京地区	2019年8～10月	民謡会館
北海道地区・東北地区	年度内	
北関東地区・北陸地区	年度内	
西日本地区・九州地区	年度内	
師範教授認定証授与式	2019年7月	民謡会館
指導者資格認定証授与式	2019年11月	民謡会館
表彰（貢献章・敬寿章・協会章等）	2019年12月12～15日	全国大会開催時、きゅりあん（東京）
組織特別委員会	随 時	民謡会館
新年賀詞交歓会	2020年1月	帝国ホテル（東京）
管理部門		
理事会（年4回）	随 時	民謡会館
評議員会（年1回）	2019年6月	定時評議員会、民謡会館
参与会（年1回）	2020年3月	民謡会館
特別委員会（民謡三章・貢献章等）	2019年5月	民謡会館
追悼式	2019年6月28日	民謡会館
平成30年度 決算監査	2019年5月	民謡会館
平成31年度 民謡民舞全国大会決算監査	2020年1月	民謡会館
平成31年度 中間監査	2020年1月	民謡会館
平成31年度 期末棚卸	2020年3月	民謡会館

平成31年度正味財産増減予算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	(2,210,000)	(2,210,000)	(0)	
特定資産受取利息	10,000	10,000	0	
特定資産運用益	2,200,000	2,200,000	0	
② 受取入金金	(850,000)	(900,000)	(△ 50,000)	
受取入金金	850,000	900,000	△ 50,000	
③ 受取会費	(73,100,000)	(74,250,000)	(△ 1,150,000)	
受取会費	71,800,000	73,000,000	△ 1,200,000	
賛助会員受取会費	1,300,000	1,250,000	50,000	
④ 事業収益	(86,350,000)	(82,600,000)	(3,750,000)	
主催・共催事業収益	32,700,000	34,100,000	△ 1,400,000	
広報事業収益	700,000	700,000	0	
情報公開事業収益	130,000	300,000	△ 170,000	
研修・セミナー事業収益	2,950,000	300,000	2,650,000	
青少年育成事業	5,300,000	1,000,000	4,300,000	民舞指導教本販売
次代の文化を創造する 新進芸術家育成事業収益	3,950,000	0	3,950,000	
衣装・出版事業収益	12,120,000	15,400,000	△ 3,280,000	
資格認定事業収益	19,500,000	20,000,000	△ 500,000	
共益事業収益	9,000,000	10,800,000	△ 1,800,000	
⑤ 受取寄付金	(4,000,000)	(4,000,000)	(0)	
受取寄付金	4,000,000	4,000,000	0	
⑥ 雑収益	(130,000)	130,000	(0)	
受取利息	30,000	30,000	0	
雑収益	100,000	100,000	0	
⑦ 募金収益	(500,000)	(500,000)	(0)	
募金収入	500,000	500,000	0	
【 経常収益計 】	167,140,000	164,590,000	2,550,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
(2) 經常費用				
① 事業費	(141,423,950)	(141,336,930)	(87,020)	
役員報酬	4,940,000	4,850,000	90,000	
給料手当	17,120,000	18,068,990	△ 948,990	
役員退職慰勞費用	244,000	244,300	△ 300	
職員退職給付費用	490,000	502,810	△ 12,810	
福利厚生費	1,634,200	1,632,500	1,700	
旅費交通費	8,403,000	13,263,900	△ 4,860,900	
会議費	1,444,000	1,999,000	△ 555,000	
通信運搬費	4,794,000	4,925,550	△ 131,550	
消耗品費	1,935,000	1,821,000	114,000	
印刷製本費	17,408,000	15,830,000	1,578,000	記念出版事業
会場費	12,628,000	11,615,000	1,013,000	
付帯設備費	7,030,000	7,510,000	△ 480,000	
諸謝金	18,788,000	16,401,800	2,386,200	
広告宣伝費	2,155,000	1,670,000	485,000	
光熱水料費	1,990,000	1,932,000	58,000	
支払手数料	760,500	718,250	42,250	
修繕費	595,000	563,500	31,500	
保守管理費	3,315,000	3,364,780	△ 49,780	
減価償却費	5,065,000	4,991,000	74,000	
租税公課	5,120,000	4,718,750	401,250	
支払分担金	4,900,000	5,880,000	△ 980,000	
表彰費	11,940,000	11,340,000	600,000	
物品購入費	2,920,000	1,680,000	1,240,000	
給食費	2,303,000	2,445,000	△ 142,000	
雑費	3,002,250	2,868,800	133,450	
募金支出	500,000	500,000	0	
② 管理費	(26,666,050)	(23,858,070)	(2,807,980)	
役員報酬	5,602,000	4,782,000	820,000	
給料手当	7,218,000	6,731,010	486,990	
役員等退職慰勞費用	385,700	340,700	45,000	
職員退職給付費用	332,140	267,190	64,950	
福利厚生費	936,900	867,500	69,400	
旅費交通費	507,150	496,450	10,700	
会議費	3,250,000	3,040,000	210,000	
通信運搬費	204,600	214,600	△ 10,000	
消耗品費	405,000	279,000	126,000	
印刷製本費	500,000	350,000	150,000	
諸謝金	200,000	148,800	51,200	
光熱水料費	487,500	468,000	19,500	
支払報酬	1,150,000	980,000	170,000	
支払手数料	139,500	131,750	7,750	
修繕費	156,000	136,500	19,500	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
保 守 管 理 費	1,034,060	1,019,520	14,540	
減 価 償 却 費	1,335,000	1,209,000	126,000	
租 税 公 課	1,281,000	1,081,250	199,750	
慶 弔 費	1,000,000	900,000	100,000	
雑 費	541,500	414,800	126,700	
【 経 常 費 用 計 】	168,090,000	165,195,000	2,895,000	
【 当 期 経 常 増 減 額 】	△ 950,000	△ 605,000	△ 345,000	
2. 経常外増減の部				
【 当 期 経 常 外 増 減 額 】	0	0	0	
【 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 】	△ 950,000	△ 605,000	△ 345,000	
【 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高 】	638,705,506	639,310,506	△ 605,000	
【 一 般 正 味 財 産 期 末 残 高 】	637,755,506	638,705,506	△ 950,000	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
【 当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額 】	0	0	0	
【 指 定 正 味 財 産 期 首 残 高 】	0	0	0	
【 指 定 正 味 財 産 期 末 残 高 】	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	637,755,506	638,705,506	△ 950,000	

